

あすなろ学園支援プログラム

作成日 R7.4.1

開設時間		8：30～17：15	サービス提供時間	9：00～15：00	送迎無
めざす子ども像 (理念)		・健康で安全な生活を送る子ども ・自分のことは自分でしようとする子ども ・人とのかかわりを喜ぶ子ども ・自分の気持ちや意思を表現できる子ども			
支援方針		・一人ひとりの子どもの健康や発達状態を把握し、くり返し働きかけ発達を促す。 ・戸外で光や風などの自然に触れ、健康な体を養う。 ・いろいろな経験をする中で、遊びの楽しさを感じ、人と物とのかかわりを深める。 ・子どもの持っている能力を最大限に生かしながら、遊ぶ力や生活する力を育てる。			
支援内容					
対象児 項目		0.1.2歳児（うさぎぐみ）		3.4.5歳児（ぞうぐみ）	
本人支援	健康 生活	・食事や排せつ、着脱などの身の回りのことを大人に介助されながら自分でできるが増える。			
	運動 感覚	・戸外遊びや体を動かす遊びを十分楽しみ、心身共に伸び伸びと健康に過ごす。			
	認知 行動	・いろいろな遊びを経験する中で、興味や関心を持ちやってみようとする気持ちになる。		・いろいろな遊びを経験する中で、興味や関心を持ちやってみようとする気持ちになる。 ・訓練で身に着けたことを、生活や遊びの中で活かす。	
	言語 コミュニケーション	・自分でできる方法で気持ちを表現する。			
	人間関係 社会性	・楽しい遊びをする中で、大人や友達への関心が広がる。		・楽しい遊びをする中で、大人や友達への関心が広がる ・親子分離による療育を行うことで、子どもの自主性を育てる。	
	理学療法	・子どもに根気強く、いろいろな運動を経験させることにより、精神及び運動の発達を促す。 ・子どもの持っている能力を最大限に生かし、自分自身でできる遊びや日常生活動作を広げていく。 ・子どもの生活環境を整え、快適な生活習慣を身につける。			
	作業療法	・得意なこと、苦手なことを感覚・運動・精神面から分析し、発達を促す。 ・子ども自身でできる遊びを広げ、日常生活活動（食事や着替えなど）の獲得を促す。			
	言語療法	・ことばの遅れ等、発達に様々な課題をもつ子どもに対して、豊かな言葉、コミュニケーションの獲得を促す。			
地域支援 地域連携		・子育て支援機関との連携 ・保育園等巡回相談の実施 ・自立支援協議会への参加			
移行支援		・家族への情報提供や移行先の見学、交流日程調整。			
家族支援		・保護者に寄り添いながら、子どもの「育ち」や「生活」が安定するよう支援する。 ・家族が安心して子育てを行うことができるよう、さまざまな家族の負担を軽減していくための物理的及び心理的支援等を行う。			
職員の質の向上		・各種研修会への参加 ・ケース検討会の実施			
主な行事等		・誕生日会 ・夏祭り ・運動会 ・みかん狩り ・クリスマス会			